

ハイキング活動下での事故関係費用の補償をする障害保険の比較（2023/2 現在）

アウトドアの自然を対象とするハイキングや登山活動では、登山道でのスリップや単独行動時の道迷いなど、いわゆる遭難事故も高年齢になるに従い増加の傾向があります。山中で遭難して民間ヘリや警察、消防団の出動を要請することも多いようです。こうした場合に救援にはそれなりの費用が伴い、救出後の経済的負担も年金生活者には大いに気になるところです。

ハイキング同好会の会員は事故発生の場合の負傷治療のため、**最低スポーツ保険に加入をお願いします。**

会員で特別、個人ハイキング（アルプスなど）に参加される予定の方は、搜索救援費を対象とした遭難保険に加入されますようお願いいたします。（**年間計画で山岳保険加入者指定の計画は山岳保険加入者が参加条件です**）

ハイキング同好会の活動形態から、下記の主要保険を、中でもスポーツ保険、日山協山岳共済保険をお勧めいたします。

また、現役時代に電機連合のけんこう共済に加入され、退職後も継続加入されている場合は下表のように搜索救援費も給付対象ですので他の保険に加入する必要はないと思います。（念のために確認ください）

主要障害保険の比較ⁱ（詳細は WEB などで確認ください）

運営主体	スポーツ安全協会	電機連合	日本山岳救助機構 (jRO)	日山協山岳共済会
保険名称	スポーツ障害保険	けんこう共済	山岳遭難・搜索保険	
遭難救助	×	○	○	
コース名称	C 区分、B 区分	救援搜索 ⁱⁱ	レスキュー費用保険	ハイキングコース I
保険料（年）	¥1,850（64歳以下） ¥1,200（65歳以上）	別途	¥4,000（入会年） 年会費 ¥2200+事後分 担金（約 200）	¥2,620
入会金・年会費	なし	なし	¥2,200（入会時のみ）	¥1000（年会費）
搜索救援費	なし	最大 500 万	最大 550 万	最大 500 万
死亡・後遺障害	2000 万（64歳以下） 600 万（65歳以上）	別途	なし	200 万
入院保険金	日 ¥4000（64歳下） ¥1800（65歳以上）	別途	なし	日 ¥1,500
賠償責任	身体障害 1 億円	3 億円	なし	1 億円
申込	団体（4 名以上）	個人	個人	個人
特記事項	障害保険で通院補償あり 同好会の活動時のみ対象 で個人活動は対象外で す。3 月下旬ハイキング同 好会にて一括申し込みます	現役時代加入者のみ 軽アイゼンなど利用の場合 は対象外 ほぼ日山協のハイキングコ ースと同じ内容と思われる	国内の季節を問わない、ピ ッケル、アイゼン、ザイル利 用した登山活動も可 疾病でも可 保険料振込翌日から対応	軽アイゼン使用は対象 外（夏季の白馬大雪渓 のみ可）

特記事項

- ① [スポーツ安全保険](#)は総会時にまとめて申込をいただき、団体保険として一括加入します。
- ② スポーツ安全保険はハイキング同好会の計画実施時のみ現地までの往復も含めて対象になりますが、**個人活動の場合**は対象外です。また**搜索救援費は補償されません**。怪我などによる通院、入院費がメインです。

http://www.sportsanzen.org/hoken/kubun/kubun_i.html

ⁱ 2022 年度の募集要項による